

広島電鉄株式会社の呉市域バス路線及び呉市生活交通の令和3年度収支状況並びに呉市生活バスの再編等について(報告)

1 広島電鉄株式会社の呉市域バス路線の令和3年度収支状況

(1) 現 状

令和3年度(補助対象期間:令和2年10月1日から令和3年9月30日まで)における広島電鉄株式会社(以下「広島電鉄」といいます。)の実車走行キロ数は約309万キロメートル,乗車人数は約500万人となっています。

次に,令和3年度の収支状況については,新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少により運賃収入が減少したことなどから,経常収益は約11億9千万円,経常費用は約18億3千万円で,約6億4千万円の赤字となっています。

(2) 業務量状況

区 分		令和3年度(a) (R2.10.1~R3.9.30)	令和2年度(b) (R1.10.1~R2.9.30)	比 較 (a)-(b)
在籍車両数(乗合)	両	88	88	0
路 線 数	路線	9	9	0
実車走行キロ(乗合)	km	3,090,418.1	3,260,109.1	△ 169,691.0
乗車人数	定期外	3,868,893	4,675,052	△ 806,159
	定 期	1,162,739	1,211,221	△ 48,482
	合 計	5,031,632	5,886,273	△ 854,641
収支状況	経常収益	1,191,921	1,356,580	△ 164,659
	経常費用	1,828,338	1,896,749	△ 68,411
	経常収支	△ 636,417	△ 540,169	△ 96,248

※経常収益には,新型コロナウイルス感染症対策取組事業者に対する支援給付金等(令和2年度:82,700千円,令和3年度:47,600千円)は含んでいません。

(3) 路線別収支（経営支援補助金）状況等

令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少により運賃収入が減少したことなどから、全ての路線が赤字路線となり、経営支援補助金は、約6億2,540万円となりました。

(単位：人、千円)

区分	令和3年度 (R2.10.1~R3.9.30)							令和2年度 (R1.10.1~R2.9.30)							比較		
	乗車人数 ①	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	経常 収支率 (a) / (b)	経常費用 + 適正利潤 (d)	経営支援 補助金 (算出額) ③ (d)-(a)	乗車人数 ②	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') ((a')-(b'))	経常 収支率 (a') / (b')	経常費用 + 適正利潤 (d')	経営支援 補助金 (算出額) ④ (d')-(a')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	経営支援 補助金 (算出額) ③-④
1 宮原線	572,132	108,365	162,374	△54,009	66.7%	165,621	57,256	654,429	119,812	159,451	△39,639	75.1%	162,640	42,828	△82,297	△14,370	14,428
2 呉倉橋島線	945,917	266,891	429,325	△162,434	62.2%	437,912	171,021	1,117,350	303,542	427,331	△123,789	71.0%	435,878	132,336	△171,433	△38,645	38,685
3 吉浦天応線	445,869	92,121	189,358	△97,237	48.6%	193,145	101,024	641,339	124,108	215,367	△91,259	57.6%	219,674	95,566	△195,470	△5,978	5,458
4 広仁方線 (旧仁方川尻線)	811,231	168,869	219,388	△50,519	77.0%	223,776	54,907	946,980	196,458	258,625	△62,167	76.0%	263,798	67,340	△135,749	11,648	△12,433
5 郷原黒瀬線	620,552	158,292	270,963	△112,671	58.4%	276,382	118,090	698,990	174,077	278,201	△104,124	62.6%	283,765	109,688	△78,438	△8,547	8,402
6 辰川線	160,864	24,910	33,278	△8,368	74.9%	33,944	9,034	189,211	28,845	32,733	△3,888	88.1%	33,388	4,543	△28,347	△4,480	4,491
7 長の木長迫線	354,877	55,015	76,515	△21,500	71.9%	78,045	23,030	404,232	61,625	74,689	△13,064	82.5%	76,183	14,558	△49,355	△8,436	8,472
8 三条二河宝町線	81,689	13,473	40,302	△26,829	33.4%	41,108	27,635	90,321	14,091	39,728	△25,637	35.5%	40,523	26,432	△8,632	△1,192	1,203
9 焼山熊野苗代線	1,038,501	303,985	406,835	△102,850	74.7%	414,972	110,987	1,143,421	334,022	410,624	△76,602	81.3%	418,836	84,814	△104,920	△26,248	26,173
小計(A)	5,031,632	1,191,921	1,828,338	△636,417	65.2%	1,864,905	672,984	5,886,273	1,356,580	1,896,749	△540,169	71.5%	1,934,685	578,105	△854,641	△96,248	94,879
黒字路線	なし						—	—	なし						—	—	—
赤字路線	9路線	1,191,921	1,828,338	△636,417	65.2%	1,864,905	672,984	9路線	1,356,580	1,896,749	△540,169	71.5%	1,934,685	578,105	△854,641	△96,248	94,879
新型コロナウイルス感染症関連支援金(B) ※							47,600							82,700	△35,100		
経営支援補助金(交付額)(A-B)							625,384	経営支援補助金(交付額)(A-B)						495,405	129,979		

※新型コロナウイルス感染症関連支援金は、各路線の経常収益には含めず、一括して別枠((B) 欄)に記載しています。

2 呉市生活交通の令和3年度収支状況

(1) 現状

旧合併町4地区（下蒲刈，川尻，倉橋及び安浦）及び広島電鉄が路線退出した路線において，市民生活に不可欠な公共交通を確保するため，地元交通事業者等に対し，生活バスの運行を依頼しています。

また，吉浦及び警固屋地区においては，地域住民が主体となり，地域の移動ニーズに即した形態で乗合タクシーが運行されています。

令和3年度については，新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少により運賃収入が減少したことなどから，全体的に経常収支率が悪化しています。

(2) 路線別収支（運行負担金）状況等

ア 呉市生活バス

(7) 合併町地域及び平成26年10月移管路線

（単位：人，千円）

区分	令和3年度							令和2年度							比較				
	人口	乗車人数 ①	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	運行 負担金 〔うち県補 助〕③	経常 収支率 (a) / (b)	人口	乗車人数 ②	経常収益 (a') ※2	経常費用 (b')	経常収支 (c') ((a')-(b'))	新型コロナ ウイルス感 染症対策関 連支援金 (d)	運行 負担金 ((c')+(d)) 〔うち県補 助〕④	経常 収支率 (a') / (b')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	運行 負担金 ③-④	
1 下蒲刈	1,271	2,914	590	11,781	△11,191	11,191 [0]	※1 6.3%	1,322	3,764	451	12,899	△12,448	250	12,198 [0]	※1 5.6%	△850	1,257	△1,007 [0]	
2 川尻	7,729	7,555	851	15,943	△15,092	15,092 [0]	※1 7.0%	8,086	9,890	1,138	15,174	△14,036	455	13,581 [0]	※1 9.9%	△2,335	△1,056	1,511 [0]	
3 倉橋	4,669	28,584	7,650	33,965	△26,315	26,315 [4,846]	22.5%	4,903	30,216	7,935	31,982	△24,047	900	23,147 [4,843]	24.8%	△1,632	△2,268	3,168 [3]	
4 安浦	9,879	15,897	2,067	18,820	△16,753	16,753 [509]	11.0%	10,151	23,946	3,430	24,287	△20,857	900	19,946 [2,659]	※1 17.5%	△8,049	4,104	△3,193 [△2,150]	
5 音戸	10,603	28,471	5,961	27,064	△21,103	21,103 [621]	22.0%	10,970	32,771	6,667	26,334	△19,667	420	19,247 [617]	25.3%	△4,300	△1,436	1,856 [4]	
6 広	44,470	横路	36,492	4,473	22,685	△18,212	18,212 [857]	19.7%	45,332	36,310	4,692	19,740	△15,048	600	14,448 [700]	23.8%	182	△3,164	3,764 [157]
		白石白岳	69,733	10,659	21,411	△10,752	10,752 [1,087]	49.8%		73,536	11,578	22,042	△10,464	600	9,864 [1,087]	52.5%	△3,803	△288	888 [0]
8	31,910	北コース	51,930	10,946	25,490	△14,544	14,544 [358]	42.9%	32,531	54,600	11,451	26,319	△14,868	520	14,348 [359]	43.5%	△2,670	324	196 [△1]
9 昭和		中央コース	68,205	9,191	19,359	△10,168	10,168 [1,079]	47.5%		67,764	8,829	20,807	△11,978	480	11,498 [1,115]	42.4%	441	1,810	△1,330 [△36]
10		南コース	39,443	7,318	16,308	△8,990	8,990 [981]	44.9%		38,362	6,918	15,960	△9,042	250	8,792 [1,003]	43.3%	1,081	52	198 [△22]
合計	110,531	349,224	59,706	212,826	△153,120	153,120 [10,338]	—	113,295	371,159	63,089	215,544	△152,455	5,375	147,069 [12,383]	—	△21,935	△665	6,051 [△2,045]	

※1 バスピースシステムが未導入の路線（下蒲刈，川尻及び安浦）について経常収支率を算出する際は，経常収益に優待負担金相当額を加算して計算しています。

※2 令和2年度の経常収益には，新型コロナウイルス感染症対策取組事業者に対する支援給付金等は含んでいません（(d)欄に記載しています。）。

(イ) 令和元年10月移管路線

(単位：人、千円)

路線名	令和3年度							令和2年度							比較		
	乗車人数 ①	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	運行 負担金 〔うち県補 助〕③	経常 収支率 (a)／(b)	乗車人数 ②	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') ((a')-(b'))	新型コロナ ウイルス感 染症対策開 連支援金(d)	運行 負担金 ((c')+(d)) 〔うち県補 助〕④	経常 収支率 (a')／(b')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	運行 負担金 ③-④	
1 呉苗代下条線	51,431	9,205	18,271	△9,066	9,066 〔1,577〕	50.4%	54,551	9,943	17,156	△7,213	500	6,713 〔1,580〕	58.0%	△3,120	△1,853	2,353 〔△3〕	
2 北原神山峠線	3,363	610	17,569	△16,959	16,959 〔0〕	3.5%	3,776	661	16,337	△15,676	400	15,276 〔0〕	4.0%	△413	△1,283	1,683 〔0〕	
3 見晴町線	21,946	4,016	16,057	△12,041	12,041 〔614〕	25.0%	28,167	5,149	14,570	△9,421	400	9,021 〔701〕	35.3%	△6,221	△2,620	3,020 〔△87〕	
4 阿賀音戸の瀬戸線	131,855	28,310	86,363	△58,053	58,053 〔4,871〕	32.8%	134,607	29,642	86,422	△56,780	1,200	55,580 〔5,030〕	34.3%	△2,752	△1,273	2,473 〔△159〕	
5 広長浜線	112,365	19,989	78,664	△58,675	58,675 〔2,664〕	25.4%	120,322	21,780	75,787	△54,007	1,345	52,662 〔3,194〕	28.7%	△7,957	△4,668	6,013 〔△530〕	
6 仁方小須磨線	6,572	860	16,473	△15,613	15,613 〔0〕	5.2%	7,755	921	17,484	△16,563	250	16,313 〔0〕	5.3%	△1,183	950	△700 〔0〕	
7 広川尻線	94,061	14,931	51,386	△36,455	36,455 〔3,418〕	29.1%	91,241	15,681	48,250	△32,569	1,150	31,419 〔3,304〕	32.5%	2,820	△3,886	5,036 〔114〕	
8 田原藤の脇線	65,575	14,346	53,519	△39,173	39,173 〔3,874〕	26.8%	71,591	16,701	58,656	△41,955	1,430	40,525 〔3,994〕	28.5%	△6,016	2,782	△1,352 〔△120〕	
合計	487,168	92,267	338,302	△246,035	246,035 〔17,018〕	—	512,010	100,478	334,662	△234,184	6,675	227,509 〔17,803〕	—	△24,842	△11,851	18,526 〔△785〕	

※令和2年度の経常収益には、新型コロナウイルス感染症対策取組事業者に対する支援給付金等は含んでいません（(d)欄に記載しています。）。

イ 乗合タクシー

(単位：人、千円)

区分	令和3年度							令和2年度							比較			
	人口	乗車人数 ①	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	運行 負担金 〔うち県補 助〕③	経常 収支率 (a)／(b)	人口	乗車人数 ②	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') ((a')-(b'))	新型コロナ ウイルス感 染症対策開 連支援金(d)	運行 負担金 〔うち県補 助〕④	経常 収支率 (a')／(b')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	運行 負担金 ③-④
1 吉浦地区 (あじさい号)	9,773	15,301	2,499	7,553	△5,054	4,100 〔709〕	33.1%	9,899	17,126	2,714	7,699	△4,985	300	4,100 〔702〕	35.3%	△1,825	△69	0 〔7〕
2 警固屋地区 (おでかけバス)	4,205	1,682	238	3,116	△2,878	1,800 〔0〕	7.6%	4,321	1,664	247	3,278	△3,031	150	1,800 〔0〕	7.5%	18	153	0 〔0〕
合計	13,978	16,983	2,737	10,669	△7,932	5,900 〔709〕	—	14,220	18,790	2,961	10,977	△8,016	450	5,900 〔702〕	—	△1,807	84	0 〔7〕

※令和2年度の経常収益には、新型コロナウイルス感染症対策取組事業者に対する支援給付金等は含んでいません（(d)欄に記載しています。）。

3 呉市生活バスの再編等

将来にわたり公共交通を維持・確保するため、令和元年度から進めている呉市生活バスの再編等の取組について、令和3年度は川尻地区で実施しました。その内容等については、次のとおりです。

川尻地区生活バス【令和3年10月1日再編実施】

(1) 再編前の状況

- ア 運行事業者 有限会社野呂山タクシー
- イ 路線数 1路線2系統
- ウ 運行便数 平日22便，土曜日16便（日曜日，祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）は運休）
- エ 運賃 1乗車170円（小学生以下90円）
- オ 利用状況等

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
利用者数（人）	12,822	12,682	11,838	11,307	9,890	7,555
1便当たりの平均利用者数（人／便）	2.1	2.1	1.9	1.9	1.6	1.4
呉市負担額（千円）	11,121	11,818	12,239	12,804	13,581	15,092
経常収支率（％）	13.6	12.1	10.6	12.0	9.9	7.0

(2) 再編までの取組

- 令和2年11月 乗込調査の実施（11月16日（月），18日（水）及び21日（土））
生活バス利用者へのアンケート調査の実施（11月9日（月）から12月8日（火）まで。延べ51人）
- 令和3年 2月 川尻地区生活バスの見直しに関する住民意見交換会の開催（2月13日（土）50人参加（小用地区住民を対象））
- 7月 川尻地区生活バスの見直しに関する住民説明会の開催（7月23日（金・祝）35人参加（小用地区住民を対象））
- 10月 再編による運行開始（運行事業者：有限会社野呂山タクシー）

(3) 再編内容

再編の内容は、次のとおりです。

- ア 路線定期運行の継続（デマンド運行の導入はなし）
- イ 車両の小型化
- ウ 利用実態に応じた運行便数の適正化（平日▲6便（22便→16便），土曜日▲3便（16便→13便））

(4) 再編後の利用状況

再編後の半年間の利用状況についての前年度との比較は次のとおりです。利用者数については、スクールバス対応による減少分を除いた比較で、新型コロナウイルス感染症の影響等により減少となっておりますが、1便当たりではわずかに増加しています。

区分	令和3年度（10月～3月）(a)	令和2年度（10月～3月）(b)	比較(a)-(b)
総数	2,654人（1.2人／便）	5,113人（1.7人／便）	△2,459人（△0.5人／便）
通学定期券利用の児童・生徒数を除いた人数	2,654人（1.2人／便）	3,212人（1.1人／便）	△558人（+0.1人／便）

(5) 今後の取組

今後も、利用者の大半である小用地区の住民との意見交換を行い、利用促進に努めるとともに、利用状況の推移も注視しながら、より利用しやすいものとなるよう、取組を継続します。

4 今後の路線バス及び生活交通に関する取組方針

路線バスにおいては、住民の利便性の向上や効率的・効果的な路線運営の実現について、引き続き広島電鉄と協議・検討を進めてまいります。

また、生活交通においては、順次、各地区で地元の意見を取り入れながら、地域の実情やニーズ、利用実態に応じた運行形態や運行路線への見直しなどを行い、持続可能な生活交通の実現に向け取り組んでいきます。

5 齋島航路及び三角航路

齋島航路及び三角航路を運航する齋島汽船株式会社は呉市が出資する第三セクターであり、総務省からの通知に基づき、令和2年11月13日付けで「第三セクター等経営健全化方針」を策定しています。

今後も安定的な運航を継続するため、当該方針に基づき、経営の健全化に向けた取組に着手します。

(1) 齋島航路の現状

- ア 運航区間 齋島港～久比港
 イ 運航便数 1日5往復10便（1月1日は運休、1月2・3日は3往復6便）
 ウ 運賃 齋島～久比の場合470円（小人240円）
 エ 利用状況等

	H29年 (H28.10.1～H29.9.30)	H30年 (H29.10.1～H30.9.30)	R1年 (H30.10.1～R1.9.30)	R2年 (R1.10.1～R2.9.30)	R3年 (R2.10.1～R3.9.30)
利用者数（人）※	5,296.0	5,925.5	5,631.0	5,390.5	4,796.5
1便当たりの平均利用者数（人／便）	1.5	1.7	1.6	1.5	1.3
経常収支率（%）	7.9	7.1	5.8	5.4	5.3

※小人は0.5人で換算

(2) 三角航路の現状

- ア 運航区間 三角港～久比港
 イ 運航便数 3～10月：平日・土曜日は1日5往復10便、日曜日・祝日は1日4往復8便
 11～2月：平日・土曜日は1日7往復14便、日曜日・祝日は1日5往復10便
 （1月1日は一部のみ運航、1月2・3日は日曜日・祝日ダイヤで運航）
 ウ 運賃 130円（小人70円）
 エ 利用状況等

	H29年 (H28.10.1～H29.9.30)	H30年 (H29.10.1～H30.9.30)	R1年 (H30.10.1～R1.9.30)	R2年 (R1.10.1～R2.9.30)	R3年 (R2.10.1～R3.9.30)
利用者数（人）※	8,350.0	7,105.5	6,896.5	6,021.0	6,280.0
1便当たりの平均利用者数（人／便）	2.1	1.8	1.8	1.5	1.6
1便当たりの平均利用車両数（台／便）	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5
経常収支率（%）	9.0	7.3	6.9	6.0	6.2

※小人は0.5人で換算

(3) 今後の予定

運航ダイヤ等の見直しの方向性について、運航事業者との協議・検討に着手し、住民への説明等を実施する予定です。